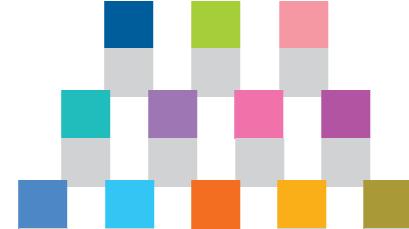


CCC HUB
CREATORS
EXHIBITION
2022



春を彩る
クリエーション。



Creation 12×Poem 12



CCC HUB C R E A T E R S E X H I B I T I O N 2 0 2 2

出展者

- 01 たいいりょう
- 02 石花久作
- 03 絵馬
- 04 かわもとみえ
- 05 小山瑞恵
- 06 小塩瀬蒼
- 07 しながわあやか
- 08 島村英二
- 09 白砂勝敏
- 10 築地修子
- 11 鶴木祐子
- 12 八木朋美
- 13 山口武彦

CCC HUBクリエーター展2022

Creation12×Poem12

春を彩るクリエーション。

開催日：2022年4月3日(日)～4月29日(金)

昨年に引き続き第2回目の開催となったCCC HUB登録クリエーターによる展覧会。ただ単に作品を展示するのではなくクリエーター同士のコラボレーション企画として、「春を彩るクリエーション。」をテーマに、様々なジャンルで活躍する12人のクリエーターと詩人たいいりょう氏の12詩によるコラボレーション作品が一堂に会してギャラリーを彩りました。この小冊子は当展覧会の作品の一部をまとめたものです。ぜひ手にとっていただき、クリエイティブ活動のヒントにつながりましたら幸いです。



併催事業

●HUBクリエーター・トークショー

テーマ：未来社会におけるクリエーターの役割

ナビゲーター：甲賀雅章氏

登壇者：たいいりょう、小塩瀬蒼、白砂勝敏、八木朋美



●詩と絵の作品公募

詩と絵を描いて大きな富士山をつくろう！展

新通小学校、番町小学校、豊田中学校、大成高等学校、静岡デザイン専門学校から寄せられた97作品を展示





詩の朗読音声出演
俳優

宮城嶋 遥加

Miyagishima Haruka

静岡市出身。SPAC- 静岡県舞台芸術センター俳優。東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻修士課程を宮城聰の演劇に関する論文で修了。主な出演作品にSPAC『ロミオとジュリエット』『イナバとナバ木の白兎』静岡県文化プログラム『かぐや姫、霊峰に帰る』など。他に、インドネシアやフランス等、海外の劇団の企画への参加、ふじのくに地球環境史ミュージアムの音声ガイドなど俳優として活動の幅を広げている。演劇の普及活動にも力を入れており、演劇ワークショップ講師や既存の建築物・空間を活用した小規模な演劇公演のプロデュースなど、学術と実践両方の立場から演劇を探究した経験を活かし、様々な活動を展開している。

詩人 美術史家
たいいりょう

Taii ryo

詩人、美術史家。泰井良

詩集『詩人の森』刊行。

浜風文庫に詩を毎月掲載。

日頃の些細な出来事を詩に書いています。

詩人として、自らの詩を朗読することもあります。

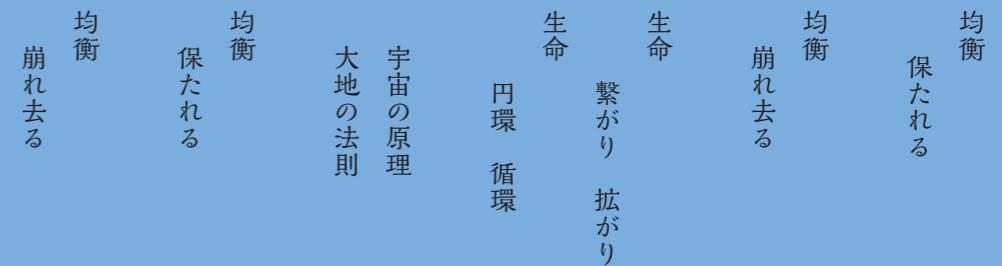
美術をはじめ芸術についての
解説や批評も書いています。

静岡県詩人会 会員
関西大学 大学院文学研究科美学美術史専攻
兵庫県立御影高等学校に在学していました。
静岡市在住
神戸出身





均 衡



ロックバランサー
石花久作
Kyusaku Ishihana

静岡市在住。
静岡市中山間地（通称オクシズ）の集落支援員に着任したことを機に、安倍川の石を使用したロックバランスを始める。

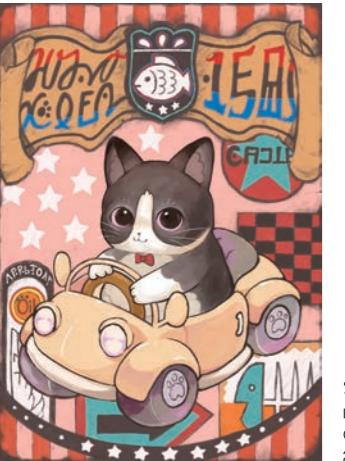
従来の石積みの概念を超越した新しい積み方を多数考案、それによりロックバランスをアート作品として開花させる。

愛好団体「石花会」（本部 東京）では師範に相当する。石花師として作品展の審査員を務める他、各種イベントでワークショップ出展し、老若男女にロックバランスの魅力を伝えている。





莓泥棒 B1サイズ CLIP STUDIO 2021



愛車でGO!
B1サイズ
CLIP STUDIO
2021



さくらほのか
B1サイズ
CLIP STUDIO
2022



立体昆虫
10cm
プラバン 油性ペン 磁石
2021



土
cm
土
21

しづおかの春

まだ来ないな
もういないよ
冬
しづおかの春は
早くて遅い
桜は咲いたか
梅は散つたか
冬をふつ飛ばし
春はやつてくる
静かにやつてくる
丘にはヒバリが
啼いている



イラストレーター
美術講師
絵馬 Emma

広島市立大学（日本画専攻）卒。小学生から大人のお絵かき講師を務める。他にも各美術講師を務め、絵の楽しさや描き方を伝えている。イラストレーターとしても各種展覧会に参加。動物のほっこりする絵が得意。

静岡県美術家連盟会員／静岡市美術家協会会員/Sizuoka illustrations Guildメンバー／はとり自然お絵かき教室主宰／県立高校美術非常勤講師
2010 静岡市民文化祭
2010 美術部門 静岡市教育長賞
2010 静岡県美術家連盟展
静岡朝日テレビ賞
2011 静岡県美術家連盟県文化協会賞
2011 静岡県芸術祭2011芸術祭賞
2021 COLOR PICKER参加
2021 はとり自然お絵かき教室開講
2021 静岡イラストレーター大見本市参加
2021 静岡ターミナル様様
「パルシェ40周年メインビジュアル」
キャラクターデザイン
2022 COLOR PICKER vol.2 参加

連絡先





可惜夜 ~あたらよ~

明けてしまうのが惜しい夜。
ステンドグラス作品を作る際の夜が明けるまでの
「贅沢な時」を表現しました。
この詩とは、新たなものに出会った時の喜びと、
完成して手放す時の寂しさがリンクしているように思います。

山路の花

寂しくないかい
寒くはないかい
ずっとそこにいるの
どのくらい前から
私もここにいるよ
あなたもここにいるよ
春はまだかな
春になつたら
また会いたいな
私もがんばるよ
あなたも元氣でね
寒い冬はもう終わり
今日はありがとう
明日もありがとう



ステンドグラス作家
かわもとみえ
Kawamoto Mie

静岡市生まれ。一男二女の母
「ステンドグラス工房かわもと」代表
静岡学園中・高等学校総合学習講師
ステンドグラス1級技能工芸士取得
日本ステンドグラス協会理事
2019 かわもと工房 代表就任
(1987年両親が設立後二代目)
2019 小川三知を讃える会 役員就任
2019 静岡県工芸美術展 奨励賞受賞
2020 Glass Gathering Exhibition 2020
USA Second Place(2位) 受賞
2020 国際公募 東京アート工芸2020
グラスアート部門賞受賞
2022 静岡県工芸美術展 奨励賞受賞





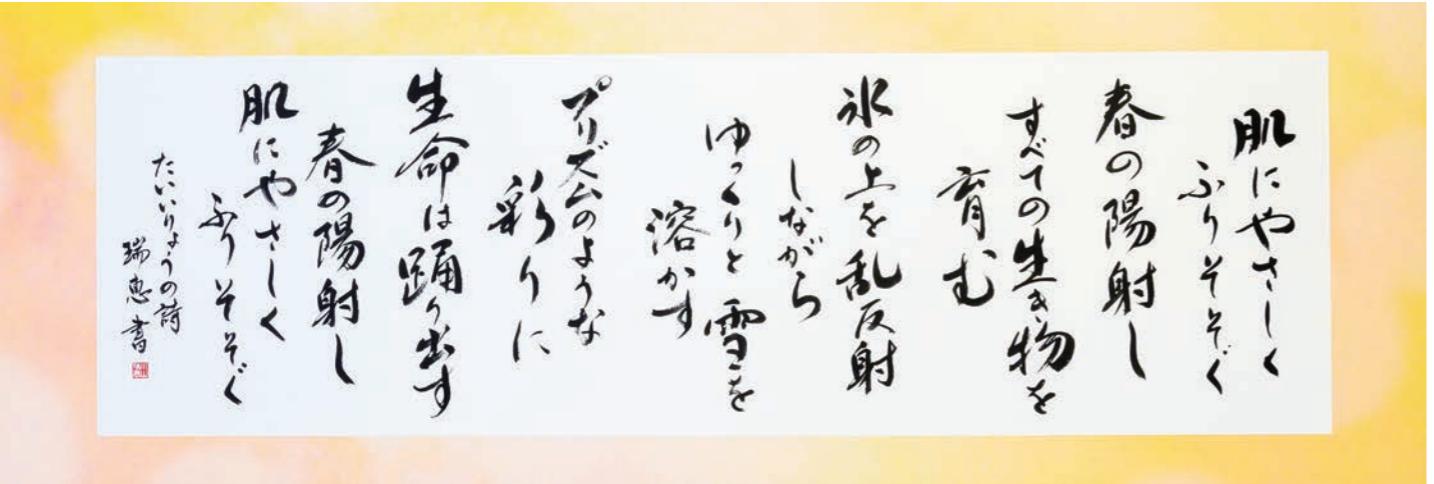
家
山 瑞 惠
Yama Mizue

「書の部屋®」代表
筆文字看板・題字・ロゴ・
制作、経営理念、賞状書等
校書道講師
科学省後援 硬筆・毛筆書写
高位、静岡県書道連盟会員
協会会員、JDCA日本デザ
家協会会員

外の書道展「石博士盃華夏
ンケール」入選、アジア各
他

／マール社『日本のデザイ
陽載、学校図書株式会社 全
語書写教員教授冊子執筆、
ボレーション「たまひよ」
ト記事執筆

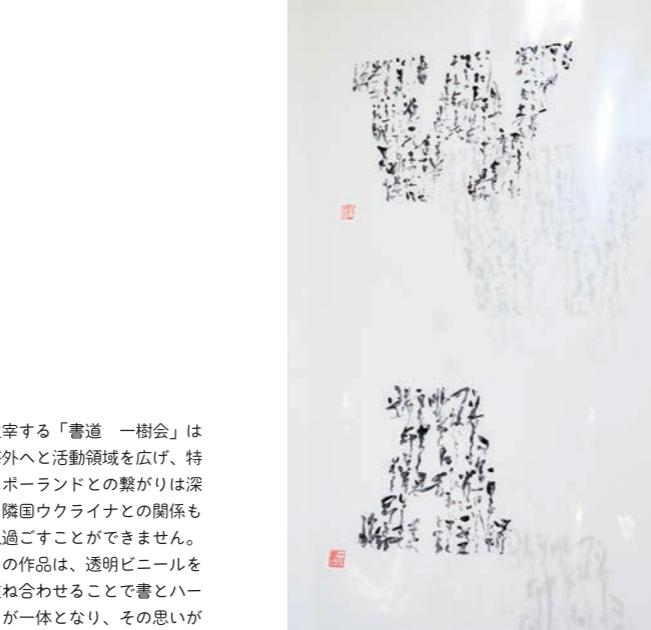
テレビ出演／NHK、SBSテ
第一テレビ、静岡朝日テレ
静岡、SBSラジオ



詩のイメージから書の雰囲気をやわらかく優しく、
子どもでも作品を見て詩の内容が伝わるように書かせていただきました。
背景にもこだわり、グラデーションになって春の陽射しをイメージしていて、
キラキラした光のようなデザインです。
春に生まれてくるたくさんの生命、その生命のあたたかく優しく、やわらかなエネルギーを
書の文字や作品全体から感じていただけたら嬉しいです。

春の陽射し

肌にやさしく
ふりそそぐ
春の陽射し
すべての生き物を
育む
氷の上を乱反射しながら
ゆっくりと雪を溶かす
プリズムのような
彩りに
生命は踊り出す
春の陽射し
肌にやさしく
ふりそそぐ



主宰する「書道一樹会」は海外へと活動領域を広げ、特にポーランドとの繋がりは深く隣国ウクライナとの関係も見過ごすことができません。この作品は、透明ビニールを重ね合わせることで書とハートが一体となり、その思いが伝わるように創りました。ウクライナが1日でも早く永遠の日常を取り戻すことを願うばかりです。



常春の島

常春の島
永遠は そこにだけあつた
永遠は そこにだけあつた
雀が一羽 木の枝にとまつた
私はずっと眺めていた
今日という一日を
ずっと見つめていた
春は命を芽生えさせる
そしてそつと命を終わらせる
今日一日いちにちと暮らす
常春の島
永遠は そこにだけあつた
永遠は そこにだけあつた



書家
小塩 潤蒼
Koshio Ryuso

1969年、静岡県吉田町生まれ。
7歳より書を始める。
幼き頃より空手、剣道に勤しみ、日本文化化である「道」の精神を学ぶ。
一樹会主宰・書道一樹会会長（2017年よりヨーロッパでも一樹会の活動を開始）。
2021年4月、任意団体「書道一樹会」を設立。

また、庭師として的一面も持つ。「間」の重要性、アンバランスのバランスの美しさ、一期一会であること、どれをとっても、「書」と「日本庭園」では通ずる部分が多く、その2つを融合させ独自の書の世界を展開している。

ポーランド、リトアニア、中国、日本国内に於いて書道パフォーマンス及び作品展示。





貝殻を探した日 148mm×100mm



新しい部屋、これからのこと 227mm×315mm



布団に包まって 135mm×175mm



ひとりごと 175mm×135mm



ひとりごと 135mm×175mm



台所に花 175mm×135mm

のどかな春の村
小鳥がさえずり
犬や猫が野を駆けまわる
田んぼを耕し
種をまく
小春日和
感じる季節
春は生命の声を
夕暮れ時が
夜のとばりをおろす
静かに

小春日和



絵描き
しながわあやか
Shinagawa Ayaka

1989年 静岡県静岡市生まれ。
静岡大学教育学部美術教育専修卒業。
絵描き・静岡県立美術館美術館教室インストラクター。

静岡県内を中心に絵画作品の制作展示、
ライブペインティング、絵画教室の開催など絵にまつわる様々な活動を行って
いる。

いのちあるすべてのものへの
愛おしさと、
生身の人間としての感覚を大切に
日々絵を描いています。



SHINA_A.



ツリーハウス
始まりは小鳥が運んできた一粒の種から!
やがて芽を出し大きな木に成長していく。
その木に手を加えて行ったら、不思議な生物が住む
ツリーハウスが出来て現在も増殖中。



ホワイトボックス
雪解け、氷の世界から
新しい命が芽吹いていく。



天までとどけ
陽光を浴びてぐんぐん天まで無限に生長していく生物たち。



春よ来い
待ち遠しい春の光は、
生き物たちに
命の息吹を吹き込んだ。

雪解け
固く冷たい氷のなか
新しい命が
芽吹く
春よ来い
永い永い
暗黒の時を経て
ようやく地上に姿を見せた
春の一片（かけら）
春よ来い
待ち遠しい
春の光は
生き物たちに
命の息吹を吹き込んだ
ぐんぐん天までとどけ
陽光を浴びて

春よ来い



ART EMOTIONS EIJI 代表

イラストレーター

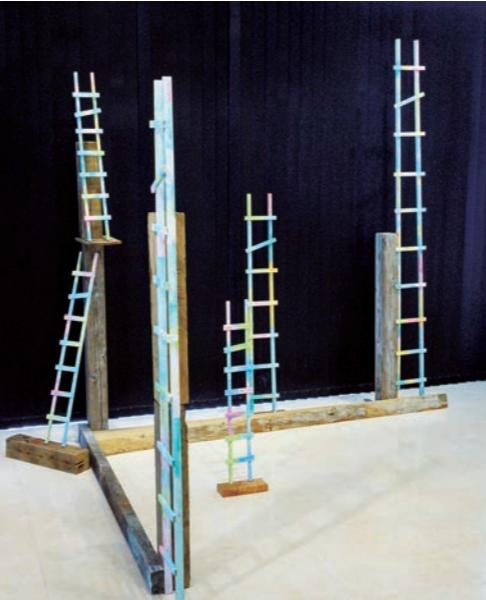
静岡市出身。

地元印刷会社のグラフィックデザイナーを経て、イラストレーターとして(株)タミヤに在籍後、フリーのイラストレーターになる。現在もタミヤ等のボックスアートを手がける他、ストーンアート等の創作活動をしている。



イラストレーター
島村 英二
Eiji Shimamura





「現と潜の狭間」
右の渦と左の渦を交互に描いています。
潜象(意識の奥)で渦巻く右の渦と左の渦が飽和するとき
現象界に突然のように現れる。
それを閃きと呼ぶのだと思う。そういう感覚で作品は生まれてくる。

私の命よ

炎はすべてをのみ込み
炎はすべてをのみ込み
熱い血潮を浴びて

天上へと昇つてゆく
燃えよ
燃えよ
燃えよ

命の炎
命の炎
命の炎

空を映し出した
水と光が戯れる
水と光が戯れる

天上へと昇つてゆく
燃えよ
燃えよ
燃えよ

命の炎
命の炎
命の炎

それは画家の目だ
しかし何という目だ

天上へと昇つてゆく
水は炎のように
水は炎のように

炎のように



美術家・演奏家
白砂勝敏
Shirasuna Katsutoshi

農業高校造園科卒業後 造園業へ美術家へ 美術は独学
20代は1年の半分以上を国内外を放浪。
放浪中は道端等で作品を売り糊口を凌ぐ
2008年 モンミュゼ沼津(沼津市立美術館)にて初個展(館企画)
その後2022年3月末までに美術館・
ギャラリー等で企画個展39回
グループ展99回(ピエンナーレ等はグループ展に含む)
パーカッション ディジュリドゥ ムビラ
奏者

かつて造園業に従事し数々の現場で石の見方 木の読み方を学んだ
そして 自然界に抗えない力を感じ
それに同調する事で自らの力を開放する事を覚えた
目に見えない感情や感覚 言葉になる前の衝動を具現化している





オードリー・ヘップバーン
水彩画 2022.3月



アン・ハサウェイ
水彩画 2021.10月



桜と富士
アクリル画（キャンバス）タペストリー 2022.3月



バラ 三連作
アクリル画3点 2022.3月

桜

桜 桜 桜
舞い散る 咲く

刹那 人は生まれ
花の一生に同じ やがて死ぬ

川面に流れる花びら
一瞬一生 働きドラマ
跡形もなく 散る

桜 桜 桜
舞い散る 咲く

ハンドメイド&カフェ・ギャラリー
「アール・ド・ヴィーヴル」オーナー

築地修子
Tsukiji Nobuko

常葉学園美術デザイン科（絵画・彫刻コース）を卒業後、教育委員会の静岡市学校給食会に勤務。その傍ら講談社こども美術学園講師として「ともえ教室」を開講（2004年）

現在は（有）アトリエサクラさんにて「子どものためのアート教室」、アール・ド・ヴィーヴルのカフェ店内で「アートレッスン」を開講。

只今店内外ともに、アートの活動規模を拡大中。

《受賞歴》

油彩画「鞠職人」第45回静岡県芸術祭で奨励賞を受賞（2005年）、静岡県女流美術展 入選





「たんぽぽ」という題から、私が思いついたのは画面いっぱいに咲き誇る、賑やかなたんぽぽ畠でした。ゆっくり、たいいりょうさんの詩をよんでみると、そうではなく「ひっそりと咲く。けれど、しっかりと咲いているたんぽぽ」でした。絵を見て、それが分かってくれたら嬉しいです。

タンポポ

そんなタンポポのように
私もこんなふうに強くありたい
目立たず 飾らず
誰にも気づかれず
雨に打たれても
風に吹かれても
静かに耐えてる
健気に美しく咲く
タンポポ
タンポポ
そつとタンポポ
バス停の片隅に



チョークアーティスト
鶴木祐子
Tsuruki Yuko

昭和生まれ。
学生時代、油絵を描く。
スーパーでPOPを描いた時期もあり、
レタリングの楽しさを知る。

2015 チョークアートに惹かれる
2019 「チョークアート生-syou-」を
屋号とする。
2021 アトリエ建設。

チョークアートを中心に、
カリグラフィー、スカンディアモスを
使った作品を作る。





デザイナー
グラフィック &
ペーパープロダクト
八木朋美
Tomomi Yagi

人やものごとに寄り添う、
ものづくりを心がけています。

グラフィックデザイン
商品開発
アートワーク
ワークショップなど
紙にまつわる仕事を得意としています。

静岡大学教育学部美術科卒業後、印
刷会社企画室、デザイン制作プロダク
ションにて広告制作、商品開発の仕事
に携わったのち、フリーランスで活動。
静岡福祉大学子ども学科講師



春 雪

めつたに降らない
春雪が町に降つた

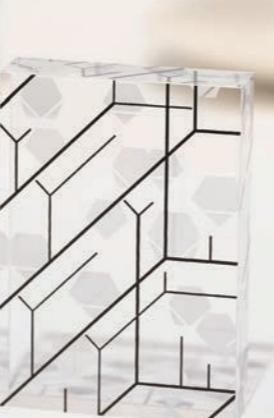
こんもり雪が積つた
樹木に 道路に 駅舎に

足の裏にへばりつくような
たっぷり湿気を含んだ雪

大人も子どもも大喜び
雪やこんこ 大騒ぎ

日本の湿润な気候
まるで水墨画

春雪は風景にアクセントをつけた



ハクモクレン 満開
白木蓮をテーマにした
蕾・開花・満開の三部作。
アクリル、シルクスクリーン
/2015



Happy Bird Card
幸せを運ぶ鳥をモチーフに
したグリーティングカード。
紙 / 2014



はるのゆき
詩「春雪」をイメージして制作。
紙、木、糸、ビーズ / 2022



春雪は風景にアクセントをつけた
まるで水墨画
日本の湿润な気候
めつたに降らない
春雪が町に降つた
足の裏にへばりつくような
たっぷり湿気を含んだ雪
大人も子どもも大喜び
雪やこんこ 大騒ぎ



はるのゆき
詩「春雪」をイメージして制作。
紙、木、糸、ビーズ / 2022



Photo by Takehiko Yamaguchi

桜咲く

桜咲く
君の微笑み
桜咲く
永久（とわ）の出会い
しばしの別れ
さつと会える
また会えるかな
君は旅立った
遠くへ行つた
春が来た
永い永い冬を越えて
桜咲く
君の微笑み

音楽は
YAMAOKEDEイラストは
YAMANPOP

クリエーター
山口 武彦
Yamaguchi Takehiko

静岡市生まれ
yamaokude.com yamanpop.com 両方のサイトの運営者 ■最終学歴 成安造形大学造形学部 デザイン科 イラストコース卒業 ■活動内容 山奥弟音楽（やまおくで）では日々思いついた音楽をクリエイトし、その日のうちにウェブサイトにアップ。また、山野ポップ（やまのぼっぷ）では時々描くイラストや絵画をアップして、世界に作品を発表していっている。
静岡市商有志展では「縁」をテーマに「故郷縁」を静岡県立美術館内で展示。京都市同時代ギャラリーにて成安造形大学卒業展に作品展示

■資格 Illustratorクリエーター能力認定試験1級 ■受賞 1999年ヨコハマイラストレーションコンペティション入選 ■特技 DTM（デスクトップミュージック）イラスト制作、小規模なウェブサイトの構築（デザイン、コーディングなど）

CCCはヒト・モノ・コトが集まる 魅力ある静岡市の創造を目指します。

「静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター(CCC)」は、クリエイティブ産業の活性化とともにクリエイティブの力による地域産業の活性化を図っています。また、「まちは劇場」の推進と連携、魅力ある静岡市の創造に貢献するハブの役割を担うべく、さまざまな活動をおこなっています。

【CCCの事業概要】

- クリエーターの育成支援
- クリエーターの発表機会の創出
- セミナー、展覧会の開催
- マッチングの推進
- まちの活性化



Homepage



Instagram

クリエーターの紹介、 マッチングは無料！隨時受付！

CCCクリエーターズHUB 登録隨時受付中

登録申請はこちらから



【CCCクリエーターズHUBとは】

CCCクリエーターズHUBには、県内を中心に活躍する幅広いジャンルのクリエーターが登録しています。“クリエイティブな仕事をお願いしたいけど、誰に頼めば…？”とお悩みでしたら、ぜひCCCにお声がけください。クリエーターの紹介やマッチングはもちろん無料。お気軽にお問い合わせ、ご依頼ください。

【HUB登録および各種お問い合わせ・ご相談はこちら】

静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター(CCC)

〒420-0035 静岡市葵区七間町15番地の1

TEL.054-205-4750 FAX.054-260-4550

info@c-c-c.or.jp <https://www.c-c-c.or.jp/>

開館時間/午前10時～午後9時

休館日/毎週月曜日および12月29日～1月3日

※月曜日が祝日の場合、翌日以降の最初の休日以外の日